**岩手県では、海岸漂着物の発生抑制につながる取組として、
多様な主体の連携・協働による海岸保全活動を推進しています。
2020年、河川・海岸清掃活動を企画・支援し、
県内の企業・団体参加のもと4回開催しました。**

2020年９月12日(土)　秋の海ごみゼロウィーク2020キックオフイベント

活動場所／参加人数：久慈市長根浜／40名

主催：岩手県　共催：海と日本プロジェクトin岩手実行委員会

久慈市長根浜会場

参加者の声

海洋ごみについて考える良い機会になったと思います。一見すれば見落としてしまいそうな細かいごみが流れ着いていることや、分解されないごみが埋まっている現状を認識する良い機会となりました。

2020年９月12日(土)　秋の海ごみゼロウィーク2020キックオフイベント

活動場所／参加人数：宮古市浄土ヶ浜園地／150名

主催：岩手県　共催：海と日本プロジェクトin岩手実行委員会

宮古市浄土ヶ浜会場

参加者の声

思っていたより大きなごみは少なく、どちらかというと小さいプラごみが多かったと思います。
浄土ヶ浜という宮古市を代表する観光地を清掃活動するというインパクトもありとても良かったです。
今後、他の場所の活動も増えていくと良いです。

2020年９月12日(土)　秋の海ごみゼロウィーク2020キックオフイベント

活動場所／参加人数：大船渡市碁石海岸／30名

主催：岩手県　共催：海と日本プロジェクトin岩手実行委員会

大船渡市碁石海岸会場

参加者の声

初めてボランティアに参加したが、改めて海に流れ着くごみの多さに驚いた。きれいになった後の海岸を見て少し満足感を得られた。碁石海岸は大船渡市を代表する観光地でもあり、継続的な活動の必要性を感じた。

2020年10月4日(日) 八木沢川に親しもう河川清掃活動

活動場所／参加人数：宮古市八木沢川周辺／約40名

実施：八木沢川を守り育てる会（代表：舘崎伸明）

八木沢川を守り育てる会

参加者の声

地元の活動と聞いて、何か協力したいと思い参加しました。川のごみ拾いも楽しかったです。プラス、川の生態（川魚等）に触れ合えてかなり楽しめました。今後、地域の清掃活動を支援しながら、自身も参加してきたいです。

「誰かがやる」ではなく「みんなで取り組む」

実際に活動を終えた参加者にアンケート調査を実施、

一人ひとりの行動が、海洋ごみの現状を認識する良い機会となったようです。

清掃活動に参加していかがでしたか

初めてボランティアに参加したが、改めて海に流れ着くごみの多さに驚いた。きれいになった後の海岸を見て少し満足感を得られた。
(大船渡市・T社)

予想していた以上にごみが多いと感じた。碁石海岸は大船渡市を代表する観光地でもあり、継続的な活動の必要性を感じた。
(大船渡市・T社)

会社の活動の一環として参加したが、波辺が綺麗になっていく光景を見ていると自主的に綺麗にしようという気持ちになった。また、大勢の協力により短時間でも大量のごみを集めることができた。
(大船渡市・T社)

一見すれば見落としてしまいそうな細かいごみが流れて着いていることや、分解されないごみが埋まっている現状を認識する良い機会となりました。
(久慈市・Y社)

清掃活動に参加した理由

環境関連の活動に積極的に参加しており今回も内容を知り参加することを決めました。
(宮古市・K社)

浄土ヶ浜で行われる事を聞き、地元の環境保全活動に取り組めると思い参加しました。
(宮古市・O社)

海洋ごみの清掃活動を通して少しでも地域社会に貢献できればと思い、参加いたしました。
(大船渡市・T社)

今後どのような環境保全活動に取り組みたいですか

予算はかかるかもしれませんが植樹や花苗を植える等の美化活動もよいかと思います。
(宮古市・K社)

ごみの分別やリサイクル等、身近に取り組めることから積極的に行っていきたいです。
(大船渡市・T社)

継続的な活動にしたい。(宮古市・M社)

日常生活のごみの減量。(宮古市・O社)

今回のような環境保全活動への参加の他、会社、個人としても省エネや再生可能エネルギーの導入など温室効果ガス削減等の努力を行っていきたい。
(大船渡市・T社)

全国各地で散見される不法投棄を未然に防ぐような活動や、個人単位で実施可能な活動(エコドライブなど)に取り組んでいきたいと考えています。
(久慈市・Y社)

感想など

今まで清掃活動に参加する機会はあまりありませんでしたが、今回実際に体験して、清掃活動の大変さや、日頃誰かがこのような活動を通して環境保全に貢献しているということを実感しました。今後はごみの分別やリサイクル等の身近なことから取り組んでいきたいと思います。
(大船渡市・T社)

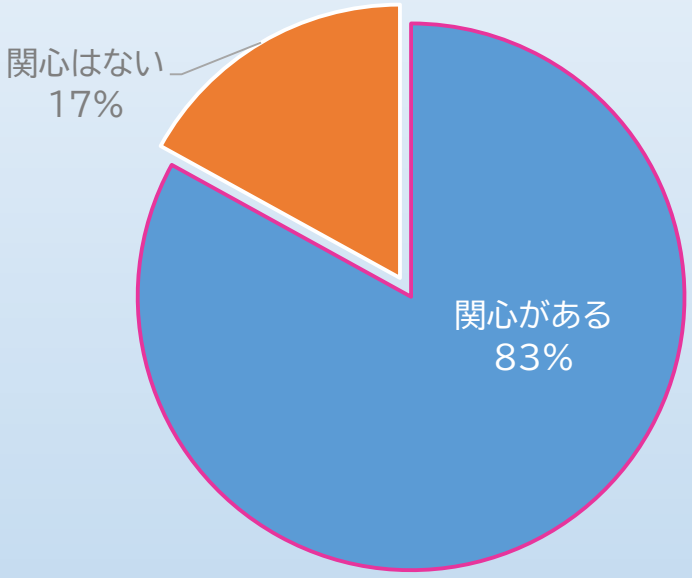
参加する前は、観光客などが捨てたごみを拾うのかと思っていましたが、実際は海から流れついたごみと思われるものが多く、改めて「海洋ごみ」の問題に気付かされた気がしました。
(大船渡市・T社)

地域団体の方だけでなく、家族そろって参加していた方々も多く、地域交流の場としてとても有意義であったと思います。
(久慈市・Y社)

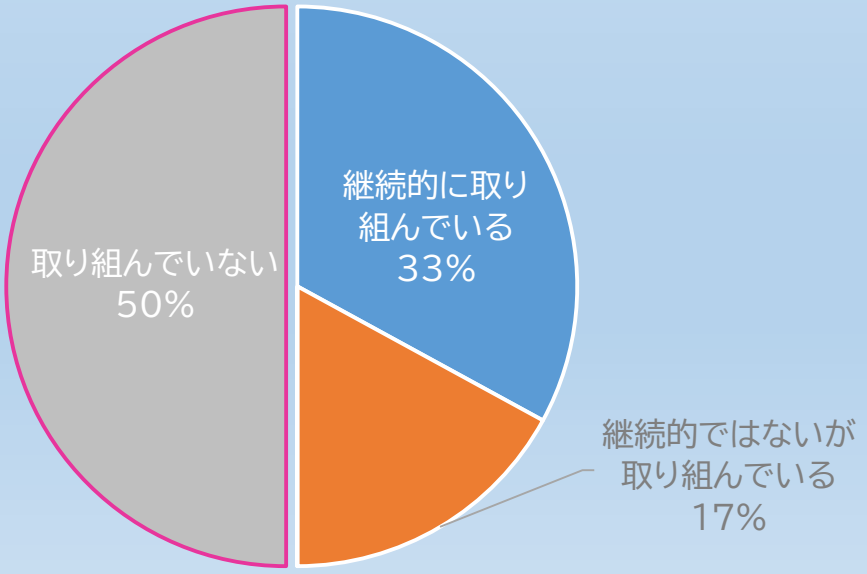
多くの人が関心を持っている「海洋ごみ」
ただ、実際の行動に繋がっていないのが現実です。

2020年7月、岩手県内の企業・団体510社（有意・無作為抽出）へ「海岸保全活動」に関する意識調査を実施。うち、148社から回答を得ました。
結果、8割以上が「海洋ごみ」に関心があると回答した一方、「海洋ごみ」に対する活動を実施している企業・団体は半数に留まっています。

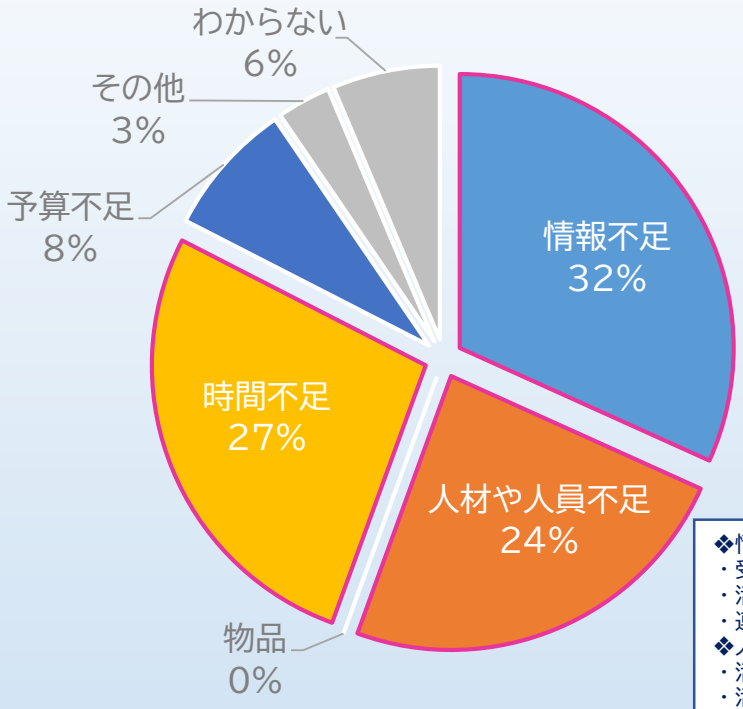
Q1.海洋ごみに関心はありますか？



Q2.海洋ごみに対する活動（または海洋ごみ対策）に取り組んでいますか？



Q3.海洋ごみに対する活動へ関心があるが、取り組めていない理由は何ですか？



❖情報とは
・受け入れ先となる海や河川に関する情報
・活動を進めていくための知識
・連携先の自治体の情報　など
❖人材とは
・活動を推進する人材
・活動に参加する人員　など
❖物品とは
・ごみ袋や軍手、トング
・活動にあたっての必要な物品　など

【環境保全活動に必要な支援は何ですか？】

- 海洋ごみに対する基礎知識、活動するための実施方法など情報が必要。
- 身近にできる環境保全活動等に関する取組事例や、その効果に関する情報の提供。
- 海洋生物がどのような被害を受けているか、海洋ごみが年々どのくらい増えているかなどを周知して欲しい。その中で、自分たちに何が出来るか、何を考えるべきかを教えて欲しい。
- 環境活動を行う上でリーダー育成のサポートが必要。
- 自社の仕事をすることで人員的には手一杯な状態となり、更なる活動となると人員が不足するため人材支援が欲しい。
- 社員意識啓発のための教育の場や講演会の開催。
- 他企業の取組事例や、連携方法など知りたい。

活動の輪を広げるために
情報・人材・連携の支援が必要です！

岩手県では、県内各地域における活動の情報提供や企業・団体とのマッチングを行っています。

- 県内各地域における環境保全活動の情報提供

環境学習交流センター　☎.019-606-1752

- 海岸・河川等の清掃活動への物資支援

いわて海ごみなくし隊実行委員会　☎.019-623-3133